

香川県中讃農業改良普及協議会（香川県丸亀市）

R5 補正
R6 当初

63

背景・課題

香川県丸亀地域のキク栽培においては、ミカンキイロアザミウマ等の難防除害虫の食害により秀品率が低下している。基本的には化学農薬による定期的な防除を行っているが、登録農薬が少ないうえ、薬剤抵抗性の発達も懸念されている。あわせて、電照用電球のLED化によるCO2排出量の削減に取り組む必要がある。

成果目標

- 赤色防虫灯（アザミウマ類忌避用LEDランプ）の設置による化学農薬使用回数の削減及び防除作業の省力化
- 電照用電球のLED化によるCO2の排出量削減

主な取組内容

- 赤色防虫灯を点灯し、アザミウマ類の行動抑制・忌避させることで（約15%の）農薬の使用回数の削減を検証。
- 電照用電球について、消費電力の低いLED電球への切り替えによるCO2の排出量の削減を検証。



丸亀市

構 成 員

香川県、JA香川県、関係市町及び農業委員会（丸亀市、坂出市、善通寺市、宇多津町、綾川町、琴平町、多度津町、まんのう町）

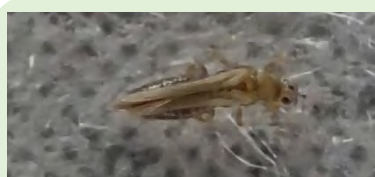
品 目

きく



赤色防虫灯

- 5～6灯/10a設置
- 日の出1時間前～日没1時間後までの日中点灯（シェード期間、消灯後は短日条件に合わす）



↑キクの難防除害虫のアザミウマ

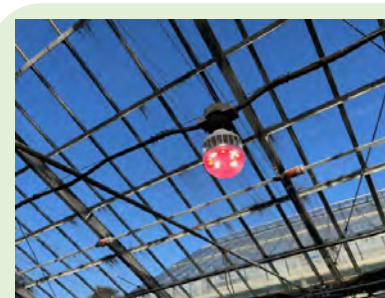
粘着トラップでの捕獲数の推移

- 施設栽培では減少する傾向が確認された。
- 露地栽培では慣行と同様な傾向が見られた。



↑アザミウマ類の食害による被害葉

- キク収穫時の被害葉発生状況
- 施設栽培では低レベルに抑えられた（10%以下）。
 - 露地栽培では23～76%と発生がバラつき、防虫灯の効果は認められなかった。



電照用LED電球

- FR光を含む電照用を使用
- 消費電力量を21w→9wに削減

普及に向けた取組

令和6年度の検証結果を踏まえ、同年度に「グリーンな栽培体系導入マニュアル」を作成し、生産者を対象とした講習会等の実施により、普及組織とJA部会が連携して地域への普及・定着を図る予定。

問い合わせ先

香川県中讃農業改良普及協議会

（香川県中讃農業改良普及センター TEL：0877-62-1022）